

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(平成28年3月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m³上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:110)
2. 調査実施時期 平成28年3月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査
4. 企業判断指数の算出方法
〔(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%))－(回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))〕
(最大値100/最小値－100)
5. 調査結果(回答工場数:104社 / 回答率:94.5%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9
H27.6	9	<i>-11</i>	<i>-12</i>	-	-	-
H27.9	-	7	<i>-1</i>	<i>0</i>	-	-
H27.12	-	-	-22	<i>-16</i>	<i>-11</i>	-
H28.3	-	-	-	-9	<i>-26</i>	<i>-22</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m³)

	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9
当年	167,965	151,260	115,740	-	-	-
(前年)	169,989	172,959	162,519	190,897	167,965	151,260
対前年比	99%	87%	71%	-	-	-

(概況)

原料在庫は減少傾向にあり、今後も前年の水準を大きく下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)

集まらない状況は変わらない。輸出・木質バイオマスで集まらない/今後も流通材入荷減/民間の流通材が特に少なく木質バイオマス原料の影響もある/

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9
H27.6	-61	<i>-44</i>	<i>-22</i>	-	-	-
H27.9	-	-70	<i>-46</i>	<i>-37</i>	-	-
H27.12	-	-	-29	<i>-36</i>	<i>-16</i>	-
H28.3	-	-	-	-39	<i>-18</i>	<i>-11</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9
当年	210,535	211,463	203,242	-	-	-
(前年)	208,773	215,499	209,330	196,064	210,535	211,463
対前年比	101%	98%	97%	-	-	-

(概況)

荷動きは前年を若干下回る水準にあり、先行きについても依然として前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)

今後も前年並みの動きではないか/ラミナが落ちている。梱包は昨年並み/道内の動きは悪いが本州(関東)の動きは昨年並み/昨年より引き続き良くない(特にサンギ、杭等)/消費増税による駆込需要に期待/

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9
H27.6	9	<i>-11</i>	<i>-19</i>	-	-	-
H27.9	-	4	<i>2</i>	<i>-16</i>	-	-
H27.12	-	-	-12	<i>-22</i>	<i>-22</i>	-
H28.3	-	-	-	-41	<i>-46</i>	<i>-35</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m³)

	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9
当年	291,680	293,031	215,699	-	-	-
(前年)	245,464	248,528	222,992	270,850	291,680	293,031
対前年比	119%	118%	97%	-	-	-

(概況)

原料在庫は減少傾向にあり、今後は前年の水準を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)

暖冬により材の搬出が鈍く不足感があるが今後は改善の見通し/カラマツ製材工場の買入や移出用にとられて原木入荷が少ない/原木は入荷しているが製材の受注も多く在庫が増えない/見通しは不足が続く/

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9
H27.6	-43	<i>-45</i>	<i>-23</i>	-	-	-
H27.9	-	-84	<i>-63</i>	<i>-46</i>	-	-
H27.12	-	-	-50	<i>-42</i>	<i>-30</i>	-
H28.3	-	-	-	-17	<i>-7</i>	<i>-2</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3	H28.4-6	H28.7-9
当年	298,058	275,238	254,608	-	-	-
(前年)	318,689	294,446	292,336	280,059	298,058	275,238
対前年比	94%	93%	87%	-	-	-

(概況)

荷動きは前年を下回る水準となっているが、先行きについては回復傾向の見通し。

(回答企業の主なコメント)

今年になってから製材の動きが多少回復/ラミナ材はまだ回復途上だが全体では昨年並み/今のところ2~3週間程度の受注量/次年度の製品の販売は多少弱い様に思われる/通年変化は見られない/